

日本百街道紀行

街道とまちづくり

第29回

東海道「箱根八里」

「歴史と文化を生かした

観光産業都市・三島」を目指して

三島市長(静岡県)

豊岡武士



はじめに

三島市は、富士箱根伊豆国立公園の玄関口に位置し、箱根西坂(箱根山の西側地域)の豊かな緑と世界文化遺産「富士山」からの湧水を有する伊豆地域の中心都市として成長を続けている。



冬の三島の風物詩「大根干し」と富士山

古くから交通の要衝として、奈良時代には伊豆国の国府が置かれ、この地の政治、経済、文化、交通の中心地として、鎌倉時代には、源頼朝の崇敬の篤かった伊豆国一宮である「三島明神」の門前町として栄えた。近世には街道により人・物・文化が往来し、東海道一の難所、箱根峠を控えた東海道五十三次の十一番目の宿場町としてにぎわいをみせていた。

現在は、東京から三島までは新幹線ひかり号で約40分という至近に位置し、国道1号線と伊豆縦貫道が合流する交通の要衝であり、この地の利を生かした若者の定住促進、子育て支援に取り組みとともに、水と緑に花を加えた豊かな自然環境を生かした企業誘致や観光振興等に取り組んでいる。

東海道「箱根八里」がつなぐ三島の今昔

多くの人が行き交い、交流する街道。東海道の三島から小田原までの八里(約32km)は「箱根八里」と呼ばれている。「天下の険」と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道「箱根八里」。そのうちの三島側について紹介したい。

江戸時代の大幹線であった「箱根八里」には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれた。江戸時代に整備された五街道の中でも屈指の通行量の東海道は、参勤交代の西国大名や江戸参府のオランダ商館長、朝鮮通信使や長崎奉行など、著名な歴史上の人物が数多く往来



富士を望む日本最長(400m)の人道吊橋「三島スカイウォーク」

したことから、道中にはさまざまな旅人たちのエピソードが残る。「箱根八里」の魅力は、はるか江戸の昔の街道の有り様が残っていることと、同じ道中にありながらも深山幽谷の小田原・箱根側と富士を望む眺望が広がる三島側と大きく風景が変わるところにある。

「三島明神」の門前町、さらに東海道や下田街道の宿場町として成立した三島宿。間口が狭く奥行きのある宿場町ならではの構造を残す街並みを東へ進み大場川を渡ると、緩やかな傾斜の坂道となり、街道の両側に約1kmにわたって松並木が続く。江戸時代以降、守り続けられた360本余りの箱根西坂の松並木と錦田一里塚が往時を偲しのばせる。

さらに歩みを進めると東海道とともに開かれた5つの新田集落に至る。新田集落は街道沿いの茶屋集落として栄え、副業の畑作の収穫物で旅人に料理がふるまわれた。雪化粧した富士山をバックに、大根を干す情景はこの地の初冬の風物詩である。

このあたりでは富士山のすそ野までの眺望が開け、なかでも富士



防衛のほか用水池としても使用された「山中城跡の障子掘」

見平は富士山の眺望地点として知られ、江戸時代に多くの絵が描かれ今も同じ風景を見ることができ。江戸時代の浮世絵師も気づかなかつたという「左富士」は、東海道の希少な景観のひとつであり、現在では、日本一の大吊橋「三島スカイウォーク」の威容を望む。さらに進むと、巨大なワッフル状の独特の堀を持つ山中城跡が見え、やがて標高845mの箱根峠に至る。平成28年には、「箱根八里」のブランド化を目指し、小田原市、箱根町と箱根八里街道観光推進協議会を発足。文化庁「日本遺産」に登録申請し、この5月に認定された。

地域資源を生かしたまちづくり

本市では、先人たちが守り育て

てきた水と緑、歴史や文化などの貴重な財産に、「花」という癒やしの彩を添えることで、魅力を高め、誰もが「三島に住みたい、訪れたい」と感じてもらえるまちづくりである

「ガーデンシティみしま」と、将来にわたり、人もまちも産業も健康で幸せを目指す「健幸」の視点を取り入れたまちづくりである「スマートウェルネスみしま」の取り組みを展開してきた。

これらを推進するとともに、「箱根八里」を含む固有の歴史的風致を守り育て、次世代に継承することを目的とした「三島市歴

一口メモ

日本遺産「東海道・箱根八里」

「箱根八里」と呼ばれる箱根旧街道は、江戸時代初めに徳川幕府が整備した東海道の一部。小田原宿から箱根宿を通り、箱根峠を登って三島宿まで下る八里(約32km)の坂道で、東海道第一の難所であった。小田原から箱根関所までを東坂、箱根関所から三島宿までを西坂と呼んだ。

箱根山は、小田原の酒匂川と並び、江戸防衛の要地とされていた。



史的風致維持向上計画」を策定し、歴史的建造物の維持保全、伝統を反映した人々の生活、暮らし、街並み・景観形成などの事業を着実に推進して魅力向上を図っている。今後は日本遺産「箱根八里」を生かした広域観光振興やインバウンドの推進などにより更なる地域活性化につなげてまいりたい。

企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」